



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2825 2015年12月7日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★点 鐘

卯野福弥会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 遊座文郎幹事

★出席報告

榎木直行委員長

会 員 数	32名
出 席 者	18名
欠 席 者	12名
出席免除者	2名
マークアップ	8名
出 席 率	86.6%

★会長挨拶

卯野福弥会長

先週の例会は、「はまぎく」と「電波時計」周辺の清掃作業でしたが、皆さん本当にご苦労様でした。今年は、那珂湊第一小学校の3年生(57人)と一緒に奉仕作業を実施しました。小学生も一緒でしたので短時間できれいにすることができました。来年も小学生と一緒に湊公園をきれいにしたいと思います。この奉仕作業については、金子貞夫会員が「ロータリー情

報館」に投稿しますので、後で茨城新聞の記事をご覧ください。

先程の理事会で次年度の役員並びに理事が承認されましたので、後ほど川崎通夫会長エレクトより発表があります。また、下半期のプログラムも承認されましたので鹿志村吉信プログラム委員会委員長からも発表があります。よろしく願いいたします。

さて、年の瀬もせまりなんとなく慌ただしい日の続いているこの頃です。皆さんのところも何かと忙しいのではないのでしょうか。忙しいと言えば、私たちは挨拶の文句に「いつもお忙しいようで何よりですね」と言うことがあります。この言葉を言われた人は悪い気がしませんが、「いつも暇のようでいいですね」と言われれば、ちょっといい気持ちがしません。「忙」は心を亡くすと書くように、毎日が忙しいと心のゆとりといったものはまずありません。日本人には昔からゆとりがなかったのでしょうか。辞書に「忙」は載っていても「ゆとり」の漢字が載っていません。もしあて字を作ったとすれば「りっしんべん」に「有」となるかもしれません。

自動車のハンドルには「あそび」があるために車はまっすぐ進むことが出来るのです。皆さんも車のハンドルのような「あそび」はお持ち

でしょうか。私たちには、日常生活の中にもっと無駄な部分があつてよいと思うのです。私たちももう少しゆとりを取り戻すことが大切であると思います。

★ 幹事報告

遊座文郎幹事

念願の会員増強ですが、ヨ印水産の磯崎泰志さんが当クラブに入会することになりました。本日は仕事の都合によりお見えになっていませんがよろしくお願ひいたします。

★ 委員会報告

川崎通夫会長エレクト



2016-17年度

クラブ理事・役員・地区委員の発表

会 長	川崎 通夫
会長エレクト (会員組織委員会委員長兼務)	菊池眞一郎
幹 事(役員)	菊池眞一郎
会 計(役員)	佐藤 利昭
会場監督・SAA(役員)	海後 宗郷
直前会長(役員)	卯野 福弥
職業奉仕委員会委員長(理事)	根本 博
社会奉仕委員会委員長(理事)	榎木 直行
青少年奉仕委員会委員長(理事)	菊本 隆広
国際奉仕委員会委員長(理事)	奥山 正紀
ロータリー財団委員会委員長(理事)	磯崎 孝
米山記念奨学委員会委員長(理事)	安藤 豊美
監 査(役員)	峯岸 邦夫
監 査(役員)	根本 隆

◎地区委員

第2分区ガバナー補佐	鹿志村吉信
地区委員	海後 宗郷

親睦活動委員会

岡田 勝委員長

今年も来週(12月14日)恒例のクリスマス家族会を開催いたします。そこでお願ひがございませう。スケジュールの中でプレゼント大抽選会を行います。その際景品を少しでも多くの参加者に差し上げるため、提供していただきたいと思ひますので、どうぞご協力の程よろしくお願ひいたします。

プログラム委員会

鹿志村吉信委員長

2015～16年度下半期例会プログラム予定表が理事会で承認されましたので、別表の通り掲載いたしますので、よろしくご協力の程お願ひいたします。

国際奉仕委員会

菊池眞一郎委員長

12月6日に地区国際奉仕セミナーに参加してきました。

午前中は世田谷ロータリークラブ会員の講演があり、午後は「この指とまれ」の提唱事業の事業計画への贈呈式等が行われました。

全体的に寄付金は集めるが、使うことに対しては意識が薄いので、事業提唱クラブになり、地区補助金やグローバル補助金の利用をして欲しいとの事でした。また、必ずMOUの確認をして欲しいとの事でした。

山上門 (巻頭写真説明)

山上門は、もとは勅使奉迎(ちよくしほうげい)のため水戸藩江戸小石川邸(文京区後楽1丁目)の正面右側に設けられたもので、後に屋敷内の「山上」と呼ばれる場所に移築されたことが名称の由来であるといわれている。昭和11年に名誉市民の深作貞治(ふかさくていじ)氏が、当時の陸軍省から山上門の払い下げを受け、当地に移築しました。小石川邸の建物のほとんどが失われた現在では、歴史的に重要な価値を持つといえる。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」